



# 学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



6月号

学校教育目標 ①いさつから輪を広げる子 ②ふうして学び続ける子 ③たしもあなたも命を大切にする子

## かがやけあくわっ子

ふくこうちょう 副校長 武藤 晋

前日が雨で天気が心配でしたが、当日は運動会日和になり、5月27日（土）、子どもたちが待ちに待っていた『チャレンジフェスタ2017』が行われました。保護者、地域の皆様には、子どもたちにたくさんの声援を送っていただき、本当にありがとうございました。



連休前から練習や準備が始まり、約1か月。今年度のスローガン『パワー全開！心を一つにあくわっ子』に向けて、どの子も一生懸命頑張ってきました。その成果が、当日の演技や競技、係の仕事の様子など随所に表れていたと思います。

負けまいと全力で必死になって走る姿、力の限り綱を引く姿、リズムに乗って楽しそうにダンスをする姿、大きな声をだし、一生懸命ソーラン節を踊る姿、緊張しながらも説明や代表の言葉を堂々と話す姿。どれもよい顔をしていて、輝いて見えました。

しかし、輝いていたのは、チャレンジフェスタ当日だけではなく、本番に至るまでの練習の様子でも、素晴らしい姿を何度も目にしました。

本番一週間前、中学年のソーラン節の最後の学年練習を見る機会がありました。体育館で3回練習した後、総仕上げとして校庭で踊る様子を見たのですが、一週間前としては、よく声が出ていて、動きもそろってきていました。見せてもらった感想として、よかったところと少しのアドバイスをしました。すると、子どもたちから、本番までもう一度練習したいと声があがりました。より良くするために、自分からもっと練習したいという気持ちとその姿を見て、とてもうれしく思いました。応援ダンスの練習でも同じような姿が見られました。応援団からの「休み時間練習しているから、一緒に練習しよう」という声かけに、低学年から高学年まで多くの子が集まって自分から練習していました。応援団のやる気と頑張りが、伝わり、周りの子たちも、自分から進んで取り組もうとしていました。

ソーラン節の練習では、高学年が低学年を思いやる姿がたくさん見られました。全校で、1・2年生もソーラン節を踊るのを見るのは初めてだったのですが、高学年の子が何度も優しく教えている姿に感心しました。1・2年生もそれに応えて一生懸命踊っていました。全校練習の時には、4～6年生が誰に言われるわけでもなく、低学年のはちまきを結んであげていました。また、騎馬戦の練習では、一騎打ちをする仲間に「がんばれ」「いけるぞ」、負けた時には「どんまい」と自然に声を掛け合っていました。

行事への取り組みを通して、自ら進んで取り組む姿勢や、仲間と協力して取り組む姿勢、相手を思いやる気持ちが着実に育っていることを感じました。

この経験を自信にして、次の活動につなげ、日々の生活や学習に広げていってほしいと思います。そして、子どもたちの輝く姿をたくさん引き出せるように、これからも、教職員一丸となって努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には今後とも、ご支援のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。